



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場会社名 株式会社エディオン 上場取引所 東名
 コード番号 2730 URL https://www.edion.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長執行役員 (氏名) 久保 允
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 小谷野 薫 TEL 06-6202-6048
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	170,742	8.6	△2,898	—	△2,679	—	△2,109	—
2019年3月期第1四半期	157,154	4.8	1,090	722.8	1,391	338.7	652	553.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △2,205百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 535百万円 (149.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△18.97	—
2019年3月期第1四半期	5.93	5.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	386,164	173,964	45.0	1,563.73
2019年3月期	355,947	178,172	50.1	1,601.53

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 173,964百万円 2019年3月期 178,172百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	14.00	—	18.00	32.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	409,000	16.1	14,500	36.3	15,400	39.2	9,800	37.4	88.09
通期	750,000	4.4	18,300	2.6	19,800	4.8	12,500	7.4	112.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	112,005,636株	2019年3月期	112,005,636株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	755,910株	2019年3月期	754,339株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	111,250,866株	2019年3月期1Q	110,035,038株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における家電小売業界は、4K・8Kチューナー内蔵モデルが出揃った事もありテレビが堅調な推移となりました。冷蔵庫や洗濯機も高付加価値商品を中心に、順調に展開いたしました。また季節商品につきましては、5月中旬以降に気温が上昇したこともあり、好調に進展いたしました。

こうした中で当企業グループにおきましては、大阪・難波に「エディオンなんば本店」を、広島市に「エディオン広島本店」をそれぞれオープンいたしました。いずれも「体験と体感」・「発見と感動」をテーマとして、今まで以上にお客様にワクワク感や楽しさを提供できる新しいタイプの店舗です。

またリフォーム分野では、外壁・屋根塗装の高性能塗料「ロイヤルeコートF」を導入しました。展開中の「プレミアムeコート」と同様に、エディオンオリジナル塗料として更なる強化を図ることで、お客様からもご好評を頂いております。

店舗展開につきましては、家電直営店として「エディオンイオンモール橿原店（奈良県）」と「エディオンなんば本店（大阪府）」の2店を新設オープン、「エディオン広島本店（広島県）」を建替オープンし、1店舗を閉鎖しました。非家電直営店は1店舗を新設し、2店舗を閉鎖しました。またフランチャイズ店舗は3店舗の純増となりました。これにより当第1四半期連結会計期間末の店舗数はフランチャイズ店舗758店舗を含めて1,194店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,707億42百万円（前年同四半期比108.6%）と増加いたしました。一方で大型出店によるオープン関連費用など販管費が増加したことから、営業損失は28億98百万円（前年同四半期は営業利益10億90百万円）、経常損失は26億79百万円（前年同四半期は経常利益13億91百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は21億9百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益6億52百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産に関する分析

総資産は、前連結会計年度末と比較し302億17百万円増加し、3,861億64百万円となりました。これは商品及び製品の増加等により流動資産の増加が258億9百万円あったことと、建物及び構築物の増加等による固定資産の増加が44億8百万円あったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較し344億24百万円増加し、2,122億円となりました。これは支払手形及び買掛金の増加等による流動負債の増加が343億42百万円あったことと、リース債務の増加等による固定負債の増加が82百万円あったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較し42億7百万円減少し、1,739億64百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失や剰余金の配当等による株主資本の減少が41億12百万円あったこと等によるものであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末と比較し6億4百万円増加し、96億39百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、27億51百万円（前年同四半期に使用した資金は43億97百万円）となりました。これは、税金等調整前四半期純損失が27億82百万円、減価償却費が25億27百万円、売上債権の増加による資金の減少が20億91百万円、たな卸資産の増加による資金の減少が221億42百万円、仕入債務の増加による資金の増加が240億14百万円、前受金の増加による資金の増加が13億48百万円、法人税等の支払額が34億9百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、35億56百万円（前年同四半期に使用した資金は36億37百万円）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が22億20百万円、差入保証金の差入による支出が12億22百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、69億11百万円（前年同四半期に得られた資金は87億76百万円）となりました。これは、短期借入金の純増加額が90億20百万円、長期借入金の返済による支出が3億3百万円、配当金の支払による支出が17億54百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2019年5月9日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,035	9,639
受取手形及び売掛金	36,339	38,430
商品及び製品	96,686	118,825
その他	10,435	11,409
貸倒引当金	△60	△60
流動資産合計	152,436	178,245
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	57,562	66,495
工具、器具及び備品(純額)	6,410	6,373
土地	67,536	67,536
リース資産(純額)	1,459	1,780
建設仮勘定	6,208	120
その他(純額)	792	758
有形固定資産合計	139,970	143,064
無形固定資産		
のれん	714	663
その他	7,487	7,138
無形固定資産合計	8,202	7,802
投資その他の資産		
投資有価証券	2,620	2,510
差入保証金	25,346	26,414
繰延税金資産	23,064	23,931
その他	4,615	4,504
貸倒引当金	△309	△309
投資その他の資産合計	55,337	57,052
固定資産合計	203,511	207,919
資産合計	355,947	386,164

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,139	55,154
短期借入金	1,040	10,060
1年内返済予定の長期借入金	2,958	2,959
リース債務	171	191
未払法人税等	3,971	347
未払消費税等	4,256	90
賞与引当金	5,250	2,729
ポイント引当金	10,376	13,126
その他	26,769	35,616
流動負債合計	85,934	120,276
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	15,625	15,617
長期借入金	41,010	40,677
リース債務	1,929	2,225
繰延税金負債	384	375
再評価に係る繰延税金負債	1,708	1,708
商品保証引当金	9,391	9,514
退職給付に係る負債	8,277	8,266
資産除去債務	7,909	7,964
その他	5,604	5,573
固定負債合計	91,841	91,923
負債合計	177,775	212,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,940	11,940
資本剰余金	85,021	85,021
利益剰余金	88,548	84,435
自己株式	△639	△639
株主資本合計	184,870	180,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△52	△128
土地再評価差額金	△5,523	△5,523
退職給付に係る調整累計額	△1,123	△1,142
その他の包括利益累計額合計	△6,698	△6,793
純資産合計	178,172	173,964
負債純資産合計	355,947	386,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	157,154	170,742
売上原価	109,852	119,993
売上総利益	47,301	50,749
販売費及び一般管理費	46,211	53,647
営業利益又は営業損失(△)	1,090	△2,898
営業外収益		
受取利息及び配当金	37	37
持分法による投資利益	—	13
受取手数料	179	33
その他	241	251
営業外収益合計	458	335
営業外費用		
支払利息	97	66
持分法による投資損失	8	—
その他	51	50
営業外費用合計	157	117
経常利益又は経常損失(△)	1,391	△2,679
特別利益		
違約金収入	3	—
その他	—	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産除却損	29	102
災害による損失	140	0
その他	1	—
特別損失合計	171	103
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,222	△2,782
法人税、住民税及び事業税	114	164
法人税等調整額	458	△836
法人税等合計	573	△672
四半期純利益又は四半期純損失(△)	649	△2,109
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	652	△2,109

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	649	△2,109
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△130	△76
退職給付に係る調整額	17	△19
その他の包括利益合計	△113	△95
四半期包括利益	535	△2,205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	539	△2,205
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,222	△2,782
減価償却費	2,312	2,527
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,257	△2,520
受取利息及び受取配当金	△37	△37
支払利息	97	66
持分法による投資損益(△は益)	8	△13
売上債権の増減額(△は増加)	10	△2,091
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,068	△22,142
仕入債務の増減額(△は減少)	5,150	24,014
前受金の増減額(△は減少)	△813	1,348
その他	3,357	2,316
小計	△1,022	684
利息及び配当金の受取額	21	23
利息の支払額	△43	△49
法人税等の支払額	△3,352	△3,409
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,397	△2,751
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,890	△2,220
無形固定資産の取得による支出	△679	△228
差入保証金の差入による支出	△135	△1,222
その他	67	115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,637	△3,556
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,530	9,020
長期借入金の返済による支出	△278	△303
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,447	△1,754
その他	△28	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,776	6,911
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	741	604
現金及び現金同等物の期首残高	8,227	9,035
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,968	9,639

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。